

2018 年漁業センサス調査資材

- 1 調査票（漁業経営体調査票 I（個人経営体用））・・・ 1
- 2 記入の仕方（漁業経営体調査票 I（個人経営体用））・・・ 11
- 3 ご協力のお願ひ・・・ 23
- 4 オンライン操作ガイド・・・ 25
- 5 郵送用封筒・・・ 45
- 6 オンラインログイン情報・・・ 47

0101

様式調第1号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計調査
漁業構造統計

2018年漁業センサス

海面漁業調査

漁業経営体調査票Ⅰ (個人経営体用)

平成30年11月1日調査



政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

	大海区	都府県 (振興局)	市区町村	漁業地区	調査区	漁業集落	客体番号
基本指標番号	:	:	:	:	:	:	:

市区町村名 漁業地区名 漁業集落名

- この調査票は、統計の作成目的以外には使用せず、得られた個々の結果についても、外に漏らしたり課税などの資料に利用することはなく、秘密を厳守することが法律により定められていますので、ありのままをご記入ください。
- 記入に当たっては、「漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）の記入の仕方」をよく読んでください。
- 黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

★ 数字は、1マスに1つずつ、枠からはみ出さないように右づめで記入してください。

★ マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。

記入例

:	:	:	9	8	7	6	5	4	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

記入例

0	→	●
---	---	---

つなげる すきまをあける

★ マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

記入例

11	2	3
----	---	---

悪い例

0	→	✓	○
---	---	---	---

- 調査票の内容については、本年（平成30年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間について記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成29年11月1日から平成30年10月31日までの1年間について記入してください。

- **調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。**
オンラインによる回答方法は、「オンライン調査システム操作ガイド」をご参照ください。

I 世帯について

(人)

1 世帯員すべての人数

11月1日現在の世帯員の人数を記入してください。

		すべての世帯員		うち、満14歳以下の世帯員	
男	701	:	:	:	:
女	702	:	:	:	:

4 漁業を行った人

満15歳以上の世帯員（平成15年10月31日までに生まれた人）のうち、過去1年間（平成29年11月1日～平成30年10月31日）に漁業を行った人をもれなく記入してください。

住居を異にしており、生計を共にしていない人や、住居は共にしているが、生計を共にしていない人については、記入しないでください。

経営主とは、自家漁業の経営に責任を持つ人や、経営の意思決定を行う人です。

経営主との続柄	性別		出生の年月				自家漁業の従事日数 (自家漁業の陸上作業を含みます。)	うち、自家漁業の海上作業日数			
	男	女	該当する元号と出生の年月を記入								
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨			
続柄番号を記入	いずれかにマーク	大正	昭和	平成	年	月	日数を記入(日)				
731	01	0	0	0	0	:	:	:	:	:	:
732	:	0	0	0	0	:	:	:	:	:	:
733	:	0	0	0	0	:	:	:	:	:	:
734	:	0	0	0	0	:	:	:	:	:	:
735	:	0	0	0	0	:	:	:	:	:	:
736	:	0	0	0	0	:	:	:	:	:	:
737	:	0	0	0	0	:	:	:	:	:	:
738	:	0	0	0	0	:	:	:	:	:	:

- ①続柄番号
- 01: 経営主
 - 02: 経営主の配偶者
 - 03: 子(満15歳以上)
 - 04: 子の配偶者
 - 05: 経営主の父母
 - 06: 経営主の配偶者の父母
 - 07: 兄弟姉妹
 - 08: 祖父母
 - 09: 孫(満15歳以上)
 - 10: 孫の配偶者
 - 11: その他(上記以外)

海上作業日数の数え方

- ・ 1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
- ・ 1航海が1夜の場合(夕方出港し、翌朝入港した場合)は1日とします。
- ・ 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- ・ なお、遊漁船業は含みません。

2 世帯としての収入

世帯としての収入は、自家漁業と自家漁業以外の仕事でどちらが多かったですか。
 当てはまるものに記入してください。

自家漁業の収入のみ		711	0
自家漁業以外の収入があった	自家漁業の収入が多かった		0
	自家漁業以外の収入が多かった (不動産による収入を含み、年金は含みません。)		0

自家漁業には、共同経営や雇われは含みません。

3 自家漁業の後継者の有無

当てはまるものに記入してください。

721	いる	いない
	0	0

後継者とは、過去1年間に漁業を行った人のうち、将来自家漁業の経営主になる予定の人をいいます。
 調査日現在(11月1日)、自家漁業を行っていないくてもかまいません。

過去1年間にした仕事									経営主とともに経営方針の決定に関わっている							
自家漁業の海上作業日数が多かった漁業種類			10月下旬に行った自家漁業の海上作業	自家漁業の陸上作業	過去1年以内に漁業を始めた人 うち、今年の3月に学校を卒業した人	自家漁業以外の自営業	共同経営の漁業の仕事	雇われて漁業の仕事		雇われて漁業以外の仕事	日数が最も多かった仕事	日数が多かった仕事	他			
1位	2位	3位	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲			
全国漁業種類番号を記入			該当するすべてにマーク									下の当てはまる番号を記入	いずれかにマーク	該当にマーク		
1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0	0	0	:	0	0	0
1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0	0	0	:	0	0	0
1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0	0	0	:	0	0	0
1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0	0	0	:	0	0	0
1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0	0	0	:	0	0	0
1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0	0	0	:	0	0	0
1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0	0	0	:	0	0	0
1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0	0	0	:	0	0	0

6ページの「全国漁業種類番号」で当てはまる番号を記入してください。

⑰日数が最も多かった仕事
 1: 自家漁業
 2: 自家漁業以外の自営業
 3: 共同経営の漁業の仕事
 4: 雇われて漁業の仕事
 5: 雇われて漁業以外の仕事

過去1年間で次のいずれかの決定に参画した人(経営主を除く。)に記入してください。
 ・漁業種類の選定・操業計画
 ・養殖種類の選定・規模
 ・出荷先
 ・資金調達
 ・漁船装備・養殖施設などの投資
 ・雇用の決定・管理

II 自家漁業に雇った人

1 海上作業に雇った人数

(1) 11月1日現在の海上作業に雇った人の有無を記入してください。雇った人がいる場合は、項目ごとにその人数を記入してください。

ここでは2ページの世帯員ではなく「雇った人数」を記入してください。

(2) (1)の日本人のうち、過去1年間に30日以上海上作業を行った人数を年齢別に記入してください。(人)

海上作業に雇った人がいない	201	0
海上作業に雇った人がいる		0

日本人		うち、過去1年以内に漁業を始めた人	外国人	
①		②	③	
千 百 + (人)		千 百 + (人)	千 百 + (人)	
211

雇った日本人のうち、30日以上海上作業を行った人を年齢別に記入

過去1年以内に漁業を始めた人とは、漁業で恒常的な収入を得ることを目的に主として漁業に従事した人で、以下のいずれかに該当する人です。
 ・新たに漁業を始めた人（過去に漁業に従事していて、再び漁業を始めた人を含む）
 ・他の仕事が生であったが、漁業が主となった人（他の産業に従事等）

		男	女
計	221	.	.
15～19歳	222	.	.
20～24歳	223	.	.
25～29歳	224	.	.
30～34歳	225	.	.
35～39歳	226	.	.
40～44歳	227	.	.
45～49歳	228	.	.
50～54歳	229	.	.
55～59歳	230	.	.
60～64歳	231	.	.
65～69歳	232	.	.
70～74歳	233	.	.
75歳以上	234	.	.

2 陸上作業に雇った人数

過去1年間の漁業の陸上作業について、最もさかんな時期に雇った人数を記入してください。

		千 百 + (人)			
計	241
男	242
女	243

Ⅲ 漁船

1 過去1年間に漁業に使用した漁船について、当てはまるものすべてを記入してください。
 (借りた漁船を含みます。)

また、漁業に使用した漁船のうち、11月1日現在で持っている隻数(借りている漁船を含み、貸している漁船は含みません。)を記入してください。

漁船を使用していない	301	0	使用していない場合は6ページへ進んでください。	使用した漁船をすべてマーク	11月1日現在で持っている漁船(隻)
漁船を使用した		0		無動力漁船 302 0 : : : 船外機付漁船 303 0 : : : 動力漁船 304 0 : : :	

1台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、1隻を船外機付漁船としてください。

2 動力漁船【動力漁船についてのみ1隻ごとに記入してください。】

過去1年間に使用した漁船 (借りた漁船を含みます。)				11月1日現在で持っている漁船 (借りている漁船を含み、貸している漁船は含みません。)					
総トン数 (小数第1位まで記入し、小数第2位を切り下げてください。)	11月1日現在	過去1年間 の出漁日数	出漁日数が多かった漁業種類			販売金額が多かった漁業種類			
	持っている		1位	2位	3位	1位	2位	3位	
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
全国漁業種類番号を記入									
401	0	0	1	1	1	1	1	1	
402	0	0	1	1	1	1	1	1	
403	0	0	1	1	1	1	1	1	
404	0	0	1	1	1	1	1	1	
405	0	0	1	1	1	1	1	1	
406	0	0	1	1	1	1	1	1	
407	0	0	1	1	1	1	1	1	
408	0	0	1	1	1	1	1	1	
409	0	0	1	1	1	1	1	1	
410	0	0	1	1	1	1	1	1	

平成30年11月1日現在において所有、借入れに関係なく、自らが管理運営している漁船については、「持っている」に記入してください。

出漁日数の数え方

- 1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
- 1航海が1夜の場合(夕方出港し、翌朝入港した場合は)1日とします。
- 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- なお、遊漁船業は含みません。

6ページの「全国漁業種類番号」で当てはまる番号を記入してください。

IV 漁業経営について

1 営んだ漁業種類

(1) 過去1年間に自家漁業で行った、すべての漁業種類について記入してください。

《 網 漁 業 》		す営 べん だも の マ ー ク	《 はえ縄・釣・ その他漁業 》		す営 べん だも の マ ー ク	《海面養殖》 (種苗養殖含む)		す営 べん だも の マ ー ク			
全国漁業種類番号			全国漁業種類番号			全国漁業種類番号					
底 び き 網	遠洋底びき網	101	0	は え 縄	遠洋まぐろはえ縄	120	0	魚 類 養 殖	ぎんざけ養殖	136	0
	以西底びき網	102	0		近海まぐろはえ縄	121	0		ぶり類養殖	137	0
	沖合底びき網 1 そうびき	103	0		沿岸まぐろはえ縄	122	0		まだい養殖	138	0
	沖合底びき網 2 そうびき	104	0	その他のはえ縄	123	0	ひらめ養殖		139	0	
	小型底びき網	105	0	遠洋かつお一本釣	124	0	とらふぐ養殖		140	0	
船 び き 網		106	0	近海かつお一本釣	125	0	くろまぐろ養殖		141	0	
ま ま き 網	大 中 型 ま ま き 網	1そうまき遠洋 かつお・まぐろ	107	0	沿岸かつお一本釣	126	0		その他の魚類養殖	142	0
		1そうまき近海 かつお・まぐろ	108	0	遠洋いか釣	127	0		ほたてがい養殖	143	0
	中 小 型 ま ま き 網	1そうまき その 他	109	0	近海いか釣	128	0		かき類養殖	144	0
		2そうまき	110	0	沿岸いか釣	129	0		その他の貝類養殖	145	0
中・小型まき網		111	0	ひき縄釣	130	0	くるまえび養殖		146	0	
刺 網	さけ・ます流し網	112	0	その他の釣	131	0	ほや類養殖		147	0	
	かじき等流し網	113	0	小 型 捕 鯨	132	0	その他の 水産動物類養殖		148	0	
	その他の刺網	114	0	潜 水 器 漁 業	133	0	こんぶ類養殖		149	0	
さんま棒受網		115	0	採 貝 ・ 採 藻	134	0	わかめ類養殖	150	0		
大 型 定 置 網		116	0	その 他 の 漁 業	135	0	のり類養殖	151	0		
さ け 定 置 網		117	0				その他の海藻類養殖	152	0		
小 型 定 置 網		118	0				真 珠 養 殖	153	0		
その 他 の 網 漁 業		119	0				真 珠 母 貝 養 殖	154	0		

3 ページ I の 4 「漁業を行
った人」、5 ページ III の 2 「動力
漁船」及び7 ページ IV の 1 の (2)
「年間販売金額が多かった全国
漁業種類番号」については、本
ページの「全国漁業種類番号」
を使用してください。

(2) 過去1年間に自家漁業で行ったすべての漁業種類のうち、販売金額の多かった順に3つを(1)の全国漁業種類番号101～154から選んで記入してください。

	1位	2位	3位
	161	162	163

年間販売金額が多かった 全国漁業種類番号	1	1	1
-------------------------	---	---	---

6ページの「全国漁業種類番号」で当てはまる番号を記入してください。

(3) 過去1年間の漁獲物・収穫物について、魚種別の販売金額の多かった順に3つを下表の魚種番号01～36から選んで記入してください。

	1位	2位	3位
	171	172	173

年間販売金額が多かった 魚種番号	:	:	:
---------------------	---	---	---

表 魚種番号

名	称	番号	名	称	番号	名	称	番号	名	称	番号
くろまぐろ		01	ひらめ・かれい類		10	いかなご		19	ほたてがい		28
かつお・まぐろ類 (くろまぐろを除く)		02	すけとうだら		11	ふぐ類		20	その他の貝類		29
かじき類		03	その他たら類		12	その他の魚類		21	いか類		30
さけ・ます類		04	ほっけ		13	いせえび		22	たこ類		31
いわし類		05	あなご類		14	その他のえび類		23	うに類		32
あじ類		06	たちうお		15	ずわいがに		24	なまこ類		33
さば類		07	たい		16	その他のかに類		25	こんぶ類		34
さんま		08	いさき		17	あわび類・さざえ		26	その他の海藻類		35
ぶり類		09	さわら類		18	あさり類		27	その他		36

2 地方選定漁業種類について

過去1年間で地方選定漁業種類の漁業を行った場合、そのすべての漁業種類について記入してください。

地方選定漁業種類が記載されていない場合、マークは不要です。

地方選定漁業種類 種類名	番号	マ ー ク	該 当
		0	
		0	
		0	
		0	
		0	
		0	
		0	
		0	
		0	

地方選定漁業種類 種類名	番号	マ ー ク	該 当
		0	
		0	
		0	
		0	
		0	
		0	
		0	
		0	
		0	

地方選定漁業種類 種類名	番号	マ ー ク	該 当
		0	
		0	
		0	
		0	
		0	
		0	
		0	
		0	
		0	

3 海面養殖業 **陸上に設置した水槽に海水を入れ養殖をする場合は、海面養殖に含めます。**

11月1日現在の養殖の状況について記入してください。

(1) 魚類養殖

養殖場の**施設面積**と**使用している面積**（魚類を放養しない面積は除きます。）を記入してください。

借りている施設の面積も含めます。

	養殖場の施設面積	うち、使用している面積			
		百万	十万	万	千
魚類養殖の合計	511	●	●	●	●
うち、ぶり類	512	●	●	●	●
うち、まだい	513	●	●	●	●
うち、ひらめ	514	●	●	●	●
うち、陸上水槽	515	●	●	●	●
うち、とらふぐ	516	●	●	●	●
うち、陸上水槽	517	●	●	●	●
うち、くろまぐろ	518	●	●	●	●

(2) ほたてがい養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式
台数と1台の平均面積を記入してください。

台数 521

●	●	●	●	●
---	---	---	---	---

平均面積 522

●	●	●	●	●
---	---	---	---	---

イ はえ縄
幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ）の長さ）を記入してください。

523

●	●	●	●	●
---	---	---	---	---

(3) かき類養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式
台数と1台の平均面積を記入してください。

台数 531

●	●	●	●	●
---	---	---	---	---

平均面積 532

●	●	●	●	●
---	---	---	---	---

イ はえ縄
幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ）の長さ）を記入してください。

533

●	●	●	●	●
---	---	---	---	---

ウ 地まき式、そだひび式
養殖している養殖場の面積を記入してください。

534

●	●	●	●	●
---	---	---	---	---

(4) わかめ類養殖

幹縄（海面に水平に張って種糸を支える縄（ロープ）の長さ）を記入してください。

541

●	●	●	●	●
---	---	---	---	---

(5) のり類養殖

施設の面積を平方メートル単位で記入してください。

（養殖施設の面積には潮通し、船通しは含みません。面積は、真上からみた養殖施設の面積とし、何枚重ね張りしても1枚の網ひびの面積としてください。）

551

●	●	●	●	●
---	---	---	---	---

(6) 真珠養殖

いかだ台数を記入してください。（かご100つりを1台としてください。）

561

●	●	●	●	●
---	---	---	---	---

(7) 真珠母貝養殖

いかだ台数を記入してください。（かご100つりを1台としてください。）

562

●	●	●	●	●
---	---	---	---	---

4 過去1年間の漁獲物・収穫物の販売金額（消費税を含む。）について、**当てはまるもの一つ**に記入してください。

養殖を行っていない場合は、「うち、海面養殖」の販売金額なしに記入してください。

販売金額なし	100万円未満	100万円未満	300万円未満	500万円未満	800万円未満	1,000万円未満	1,500万円未満	2,000万円未満	5,000万円未満	1億円未満	2億円未満	5億円未満	10億円以上
--------	---------	---------	---------	---------	---------	-----------	-----------	-----------	-----------	-------	-------	-------	--------

「10億円以上」の場合は、金額も記入してください。

千億 百億 十億 (億円)

販売金額	571	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	→	573	:	:	:	:
うち、海面養殖	572	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	→	574	:	:	:	:

四捨五入して億円単位で記入してください。

5 過去1年間の**すべての漁獲物・収穫物の出荷先**に記入してください。また、**出荷額の最も多かった出荷先一つ**に記入してください。

出荷先	漁業協同組合 または荷さばき所	漁業協同組合 以外の卸売市場	流通業者・加工業者	小売業者・生協	外食産業	消費者に直接販売	その他
出 荷 先 (該当すべてにマーク)	581	0	0	0	0	0	0
出荷額の最も多かった出荷先 (一つにマーク)	582	0	0	0	0	0	0

消費者に直接販売には、自ら生産した水産物またはそれを使用した加工品を消費者に直接販売しているものが該当します。
自営の水産物直売所には、漁業者自らが運営する直売所が該当します。
その他の水産物直売所には、共同で運営している直売所または他の人が運営している直売所が該当します。(漁業協同組合の直売所、道の駅など)
他の方法には、移動販売(行商)等のほか、インターネットや電話等により消費者から直接受注し、販売した場合が該当します。

V 漁業以外の事業について

過去1年間に行った漁業以外の事業について、**当てはまるものすべて**に記入してください。また、**漁家民宿の過去1年間の延べ宿泊者数**を記入してください。

	行っていない	水産物の加工	漁家民宿	漁家レストラン	遊漁船業	農業	小売業	その他
591	0	0	0	0	0	0	0	0

漁家民宿の延べ宿泊者数 万 千 百 十 (人)					
592	:	:	:	:	:

調査は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。



2018年漁業センサス

漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）

記入の仕方

◆ 2018年漁業センサスとは

「漁業センサス」とは、漁業に関する国勢調査ともいべき大切な調査で、我が国漁業の基本構造等を明らかにし、水産行政の企画・立案等に活用することを目的に、5年に1度実施しています。

漁業や漁村の振興政策の策定など、水産行政の基礎となるものですので、ご協力をお願いいたします。



◆ 秘密の保護について

統計調査員及び都道府県、市区町村の職員が、個人の調査内容を他に漏らしたり、課税等、統計以外の目的に使うことは、法律で厳しく禁じられていますので、ありのままの記入をお願いいたします。

《 調査票記入にあたっての注意 》

- 調査票を記入する際は、この「記入の仕方」をよくお読みください。
- 黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
- 数字は1マスに1字ずつ算用数字で右に詰めて記入してください。
- 該当のある項目だけ記入し、それ以外の項目には何も記入しないでください。（－（バー）や0（ゼロ）を記入する必要はありません。）

- ◆ 調査の内容、調査票の記入方法などについて、わからない点がありましたら、コールセンターにお問い合わせいただくか、統計調査員が訪問した際にご質問ください。

◆ 平成30年 満年齢早見表

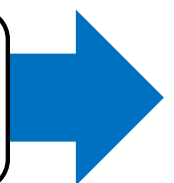
調査票の2ページにあります「I-4 漁業を行った人」の設問において、出生の年月を記入する際の参考にご利用ください。

なお、1月～10月生まれの方（誕生日が過ぎた方）は、年齢欄の数字が現在の年齢となります。

11月～12月生まれの方（誕生日が過ぎていない方）は、現在の年齢に1を足した年齢欄の、元号と年を記入してください。

年齢	元号	西暦	年齢	元号	西暦	年齢	元号	西暦
16歳	平成14年	2002年	42歳	昭和51年	1976年	72歳	昭和21年	1946年
17歳	平成13年	2001年	43歳	昭和50年	1975年	73歳	昭和20年	1945年
18歳	平成12年	2000年	44歳	昭和49年	1974年	74歳	昭和19年	1944年
19歳	平成11年	1999年	45歳	昭和48年	1973年	75歳	昭和18年	1943年
20歳	平成10年	1998年	46歳	昭和47年	1972年	76歳	昭和17年	1942年
21歳	平成9年	1997年	47歳	昭和46年	1971年	77歳	昭和16年	1941年
22歳	平成8年	1996年	48歳	昭和45年	1970年	78歳	昭和15年	1940年
23歳	平成7年	1995年	49歳	昭和44年	1969年	79歳	昭和14年	1939年
24歳	平成6年	1994年	50歳	昭和43年	1968年	80歳	昭和13年	1938年
25歳	平成5年	1993年	51歳	昭和42年	1967年	81歳	昭和12年	1937年
26歳	平成4年	1992年	52歳	昭和41年	1966年	82歳	昭和11年	1936年
27歳	平成3年	1991年	53歳	昭和40年	1965年	83歳	昭和10年	1935年
28歳	平成2年	1990年	54歳	昭和39年	1964年	84歳	昭和9年	1934年
29歳	平成元年	1989年	55歳	昭和38年	1963年	85歳	昭和8年	1933年
30歳	昭和63年	1988年	56歳	昭和37年	1962年	86歳	昭和7年	1932年
31歳	昭和62年	1987年	57歳	昭和36年	1961年	87歳	昭和6年	1931年
32歳	昭和61年	1986年	58歳	昭和35年	1960年	88歳	昭和5年	1930年
33歳	昭和60年	1985年	59歳	昭和34年	1959年	89歳	昭和4年	1929年
34歳	昭和59年	1984年	60歳	昭和33年	1958年	90歳	昭和3年	1928年
35歳	昭和58年	1983年	61歳	昭和32年	1957年	91歳	昭和2年	1927年
36歳	昭和57年	1982年	62歳	昭和31年	1956年	92歳	大正15年	1926年
37歳	昭和56年	1981年	63歳	昭和30年	1955年	93歳	大正14年	1925年
38歳	昭和55年	1980年	64歳	昭和29年	1954年	94歳	大正13年	1924年
39歳	昭和54年	1979年	65歳	昭和28年	1953年	95歳	大正12年	1923年
40歳	昭和53年	1978年	66歳	昭和27年	1952年	96歳	大正11年	1922年
41歳	昭和52年	1977年	67歳	昭和26年	1951年	97歳	大正10年	1921年
			68歳	昭和25年	1950年	98歳	大正9年	1920年
			69歳	昭和24年	1949年	99歳	大正8年	1919年
			70歳	昭和23年	1948年	100歳	大正7年	1918年
			71歳	昭和22年	1947年	101歳	大正6年	1917年

各調査項目に関する記入の仕方は、次のページ以降をご確認ください。



調査票の内容については、本年（平成30年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成29年11月1日から平成30年10月31日までの1年間について記入してください。

0101

様式調第1号

秘
農 林 水 産 省
統計法に基づく基幹統計調査
漁業構造統計

2018年漁業センサス

海面漁業調査

漁業経営体調査票Ⅰ

（個人経営体用）

平成30年11月1日調査



政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

基本指標番号	大海区	都府県 (振興局)	市区町村	漁業地区	調査区	漁業集落	客体番号
	:	:	:	:	:	:	:

市区町村名	漁業地区名	漁業集落名
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

- この調査票は、統計の作成目的以外には使用せず、得られた個々の結果についても、外に漏らしたり課税などの資料に利用することはなく、秘密を厳守することが法律により定められていますので、ありのままをご記入ください。
- 記入に当たっては、「漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）の記入の仕方」をよく読んでください。
- 黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

★ 数字は、1マスに1つずつ、枠からはみ出さないように右づめで記入してください。

★ マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。

記入例

:	:	:	9	8	7	6	5	4	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

記入例

0	→	<input checked="" type="checkbox"/>
---	---	-------------------------------------

つなげる すきまをあける

★ マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

記入例

11	2	3
----	---	---

悪い例

0	→	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
---	---	-------------------------------------	--------------------------

- 調査票の内容については、本年（平成30年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間について記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成29年11月1日から平成30年10月31日までの1年間について記入してください。

- **調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。**
オンラインによる回答方法は、「オンライン調査システム操作ガイド」をご参照ください。

「世帯員」とは次のような人をいいます。

- ・ 住居と生計を共にしている人
- ・ 出稼ぎや遊学等で家を離れているが、不在期間が1年未満の人
なお、漁船を含め船舶の乗組員については、不在期間が1年以上であっても、世帯員に含めます。
- ・ 住み込みの雇い人で、1年以上経過した人（経過見込みの人も含めます。）

I 世帯について

1 世帯員すべての人数
11月1日現在の世帯員の人数を記入してください。

0102

		すべての世帯員		うち、満14歳以下の世帯員	
性別	人数	人数	人数	人数	人数
男	701	3	1		
女	702	3	1		

4 漁業を行った人
満15歳以上の世帯員（平成15年10月31日までに生まれた人）のうち、過去1年間（平成29年11月1日～平成30年10月31日）に漁業を行った人をもれなく記入してください。

住居を異にしており、生計を共にしていない人や、住居は共にしているが、生計を共にしていない人については、記入しないでください。

経営主とは、自家漁業の経営に責任を持つ人や、経営の意思決定を行う人です。

① 続柄番号

- 01: 経営主
- 02: 経営主の配偶者
- 03: 子（満15歳以上）
- 04: 子の配偶者
- 05: 経営主の父母
- 06: 経営主の配偶者の父母
- 07: 兄弟姉妹
- 08: 祖父母
- 09: 孫（満15歳以上）
- 10: 孫の配偶者
- 11: その他（上記以外）

経営主との続柄	性別		出生の年月				日数を記入（日）
	男	女	該当する元号と出生の年月を記入				
①	②	③				⑤	
続柄番号を記入	いずれかにマーク	大	昭	平	年	月	日
01	●	0	0	0	29	10	25
732	02	●	0	0	35	9	2
733	03	●	0	0	1	7	17
734	:	:	0	0	:	:	:
735	:	:	0	0	:	:	:
736	:	:	0	0	:	:	:
737	:	:	0	0	:	:	:
738	:	:	0	0	:	:	:

自家漁業の陸上作業を含みます。

うち、自家漁業の海上作業日数

世帯の戸籍上の筆頭者ではなく、漁業を経営する上での責任者を、一番上の欄に記入してください。

「漁業を行った人」は8人までしか記入できません。9人以上いる場合は、調査票の最後のページに補助票がありますので、そちらに記入してください。

海上作業日数の数え方
 ・ 1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
 ・ 1航海が1夜の場合（夕方出港し、翌朝入港した場合）は1日とします。
 ・ 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
 ・ なお、遊漁船業は含みません。

「陸上作業」とは、海上作業以外のすべての作業をいい、具体的には次のとおりです。

- ・ 漁船や漁網等の修理・整備（停泊中の漁船内で行った場合を含めます。）
- ・ 漁具や食料品の積み込み作業
- ・ 出港時の漁船の引き下ろし、帰港時の引き上げ、悪天候時の出港待機
- ・ 餌の仕入れ、調餌作業
- ・ 真珠の核入れ作業、真珠の採取作業、貝掃除作業、貝のむき身作業、わかめの乾燥作業
- ・ 漁獲物を出荷するまでの運搬、箱詰め等の作業
- ・ 自家漁業の経理、計算、帳簿管理等の作業

「過去1年以内に漁業を始めた人」とは、調査期日前1年間に、漁業で恒常的な収入を得ることを目的に、主として漁業に従事した者で、次のような人をいいます。

- ・ 新たに漁業を始めた者（過去に漁業に従事していて、再び漁業を始めた者を含めません。）
- ・ 他の仕事の主であったが、漁業が主となった者（他の産業にも従事等）
- ・ 普段の状態が仕事を主としていなかったが、漁業が主となった者（学生等）

2 世帯としての収入

世帯としての収入は、自家漁業と自家漁業以外の仕事でどちらが多かったですか。
当てはまるものに記入してください。

自家漁業の収入のみ		0
自家漁業以外の収入があった	自家漁業の収入が多かった	711
	自家漁業以外の収入が多かった (不動産による収入を含み、年金は含みません。)	0

自家漁業には、共同経営や雇われは含みません。

3 自家漁業の後継者の有無

当てはまるものに記入してください。

いる	いない
721	0

後継者とは、過去1年間に漁業を行った人のうち、将来自家漁業の経営主になる予定の人をいいます。
調査日現在(11月1日)、自家漁業を行っていないにもかかわらず。

「共同経営」とは、2人以上(法人を含めます。)が、漁船、漁網等の主要生産手段を共有し、漁業経営を共同で行ったものをいいます。
共同経営で働いているが、出資をしていない場合は、共同経営に雇われているとし、⑮欄にマークしてください。

過去1年間に多かった漁業の種類			過去1年間に漁業を始めた人										日数が最も多かった仕事		日数が多かった仕事		経営主とともに経営方針の決定に関わっている
1位	2位	3位	10月下旬に行った自家漁業の海上作業	過去1年以内に漁業を始めた人	うち、今年の3月に学校を卒業した人	自家漁業以外の自営業	共同経営の漁業の仕事	雇われて漁業の仕事	雇われて漁業以外の仕事	日数が最も多かった仕事	日数が多かった仕事	自家漁業	他の仕事	該当にマーク			
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑲			
全国漁業種類番号を記入			該当するすべてにマーク										下の当てはまる番号を記入		いずれかにマーク		該当にマーク
103	135	:::	●	●	0	0	●	0	0	0	1	●	0	●			
1	:::	1	:::	1	:::	0	●	0	0	●	2	0	●	0			
139	103	144	●	●	0	0	●	0	0	0	1	●	0	●			
1	:::	1	:::	1	:::	0	0	0	0	0	:	0	0	0			
1	:::	1	:::	1	:::	0	0	0	0	0	:	0	0	0			
1	:::	1	:::	1	:::	0	0	0	0	0	:	0	0	0			
1	:::	1	:::	1	:::	0	0	0	0	0	:	0	0	0			

6ページの「全国漁業種類番号」で当てはまる番号を記入してください。

⑰日数が最も多かった仕事
1: 自家漁業
2: 自家漁業以外の自営業
3: 共同経営の漁業の仕事
4: 雇われて漁業の仕事
5: 雇われて漁業以外の仕事

過去1年間で次のいずれかの決定に参画した人(経営主を除く。)に記入してください。
・ 漁業種類の選定・操業計画
・ 養殖種類の選定・規模
・ 出荷先
・ 資金調達
・ 漁船装備・養殖施設などの投資
・ 雇用の決定・管理

「海上作業」とは、次の作業をいいます。

- ・ 漁船漁業においては、海上でのすべての作業
- ・ 地びき網漁業においては、海上でのすべての作業及び陸上での引き子の作業
- ・ 採貝、採藻
- ・ 海上施設における養殖の場合は、海上でのすべての作業
- ・ 陸上施設における養殖の場合は、給餌作業をはじめ、養殖施設でのすべての作業

このページは、すべての方がご記入ください

- 雇用契約を結んで漁業の海上作業に従事している外国人の数を記入してください。
- 海外基地で乗下船する者や外国人技能実習制度における雇用契約に基づく技能実習を行っている者は含めますが、講習による知識修得活動期間中の外国人（雇用関係なし）は含めません。

11月1日現在の海上作業に雇った日本人の数を記入してください。

II 自家漁業に雇った人

1 海上作業に雇った人数

- (1) 11月1日現在の海上作業に雇った人の有無を記入してください。雇った人がある場合は、項目ごとにその人数を記入してください。

海上作業に雇った人がいない	201	0
海上作業に雇った人がいる		0

日本人	うち、過去1年以内に漁業を始めた人		外国人								
	①	②									
千	百	十	(人)	千	百	十	(人)	千	百	十	(人)
211	3	1									

雇った日本人のうち、30日以上海上作業を行った人を年齢別に記入

過去1年以内に漁業を始めた人とは、漁業で恒常的な収入を得ることを目的に主として漁業に従事した人で、以下のいずれかに該当する人です。

- 新たに漁業を始めた人（過去に漁業に従事していて、再び漁業を始めた人を含む。）
- 他の仕事为主であったが、漁業が主となった人（他の産業に従事等）

0104

ここでは2ページの世帯員ではなく「雇った人数」を記入してください。

- (2) (1)の日本人のうち、過去1年間に30日以上海上作業を行った人数を年齢別に記入してください。(人)

計		男		女	
		十	百	十	百
計	221	3			
15～19歳	222				
20～24歳	223	1			
25～29歳	224	2			
30～34歳	225				
35～39歳	226				
40～44歳	227				
45～49歳	228				
50～54歳	229				
55～59歳	230				
60～64歳	231				
65～69歳	232				
70～74歳	233				
75歳以上	234				

陸上作業が最もさかんな時期に、陸上作業のために雇った人数を記入してください。なお、外国人も含めます。

陸上作業に雇った人数

過去1年間の漁業の陸上作業について、最もさかんな時期に雇った人数を記入してください。

		十 百 十 (人)			
		千	百	十	(人)
計	241	2			
男	242				
女	243	2			

「漁船」とは、過去1年間に自己の漁業生産に使用したもので、主船だけでなく灯船、魚群探索船等の付属船も含めます。なお、漁船登録をしても遊漁のみに使用した漁船は含めません。

0105

III 漁船

- 1 過去1年間に漁業に使用した漁船について、当てはまるものすべてを記入してください。(借りた漁船を含みます)
 また、漁業に使用した漁船のうち、11月1日現在で持っている隻数(借りている漁船を含み、貸している漁船は含みません。)を記入してください。

漁船を使用していない	301	0	→ 使用していない場合は6ページへ進んでください。	使用した漁船をすべてマーク	11月1日現在で持っている漁船(隻)	1台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、1隻を船外機付漁船としてください。
漁船を使用した		●		無動力漁船	302	0
				船外機付漁船	303	●
				動力漁船	304	●

11月1日現在で持っている場合は、③欄及び④～⑨欄に記入してください。

2 動力漁船【動力漁船についてのみ1隻ごとに記入してください。】

過去1年間に使用した漁船 (借りた漁船を含みます)	11月1日現在で持っている漁船 (借りている漁船を含み、貸している漁船は含みません。)		過去1年間の出漁日数			11月1日現在で持っている漁船の出漁日数			出漁日数が多かった漁業種類			販売金額が多かった漁業種類				
	総トン数 (小数第1位まで記入し、小数第2位を切り下げてください。)	11月1日現在持っている	11月1日現在持っていない	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑦	⑧	⑨	⑦	⑧	⑨		
千 百 十 (トン) ↓	2 5 . 3	0	0	2	6	7	1	0	3	1	1	1	0	3	1	1
402	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
403	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
404	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
405	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
406	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
407	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
408	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
409	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
410	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

海面養殖を行っていても、養成期間中で、過去1年間に収穫していない場合は、販売見込み金額の多い順に記入してください。

平成30年11月1日現在において所有、借入れに関係なく、自らが管理運営している漁船については、「持っている」に記入してください。

出漁日数の数え方
 ・1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
 ・1航海が1夜の場合(夕方出港し、翌朝入港した場合は)1日とします。
 ・2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
 ・なお、遊漁船業は含みません。

6ページの「全国漁業種類番号」で当てはまる番号を記入してください。

同じ漁業種類であっても、必ず漁船ごとにそれぞれ記入してください。

「動力漁船」は10隻までしか記入できません。11隻以上使用した場合は、調査員から配布される補助票がありますので、そちらに記入してください。

(例) 25.38トン→25.3トン

漁業種類は、各地域によって様々な名称がありますので、別に配布している「漁業種類地方名称一覧」を参考にしてください。

0106

IV 漁業経営について

1 営んだ漁業種類

(1) 過去1年間に自家漁業で行った、すべての漁業種類について記入してください。

	《 網 漁 業 》 全国漁業種類番号	《 はえ縄・釣・その他漁業 》 全国漁業種類番号	《 海 面 養 殖 》 (種苗養殖含む) 全国漁業種類番号	
底 び き 網	遠洋底びき網 101	は 遠洋まぐろはえ縄 120	ぎんざけ養殖 136	
	以西底びき網 102	え 近海まぐろはえ縄 121	ぶり類養殖 137	
	沖合底びき網 103	縄 沿岸まぐろはえ縄 122	魚 まだい養殖 138	
	沖合底びき網 104	網 その他のはえ縄 123	類 ひらめ養殖 139	
	小型底びき網 105	遠洋かつお一本釣 124	養 とらふぐ養殖 140	
	船 び き 網 106	近海かつお一本釣 125	殖 くろまぐろ養殖 141	
	ま ま き ま き 網	1そうまき遠洋かつお・まぐろ 107	沿岸かつお一本釣 126	その他の魚類養殖 142
		1そうまき近海かつお・まぐろ 108	釣 遠洋いか釣 127	ほたてがい養殖 143
		1そうまきその他 109	近海いか釣 128	かき類養殖 144
		2そうまき 110	沿岸いか釣 129	その他の貝類養殖 145
中・小型まき網 111	ひき縄釣 130	くるまえび養殖 146		
刺 網	さけ・ます流し網 112	その他の釣 131	ほや類養殖 147	
かじき等流し網 113	小 型 捕 鯨 132	そ の 他 の 水 産 動 物 類 養 殖 148		
その他の刺網 114	潜 水 器 漁 業 133	こ ん ぶ 類 養 殖 149		
さんま棒受網 115	採 貝 ・ 採 藻 134	わ か め 類 養 殖 150		
大型定置網 116	そ の 他 の 漁 業 135	の り 類 養 殖 151		
さけ定置網 117		そ の 他 の 海 藻 類 養 殖 152		
小型定置網 118		真 珠 養 殖 153		
その他の網漁業 119		真 珠 母 貝 養 殖 154		

3ページ1の4「漁業を行った人」、5ページⅢの2「動力漁船」及び7ページⅣの1の(2)「年間販売金額が多かった全国漁業種類番号」については、本ページの「全国漁業種類番号」を使用してください。

漁業を行うためのえさを漁獲又は養殖した場合も、該当する漁業種類にマークしてください。

海面養殖を行っていても、養成期間中で、過去1年間に収穫していない場合は、販売見込み金額の多い順に記入してください。

0107

(2) 過去1年間に自家漁業で行ったすべての漁業種類のうち、販売金額の多かった順に3つを(1)の全国漁業種類番号101～154から選んで記入してください。

	1位	2位	3位
	161	162	163
年間販売金額が多かった全国漁業種類番号	103	139	135

6ページの「全国漁業」当てはまる番号を記入し

6ページでマークした「全国漁業種類番号」の中から選んで記入してください。

(3) 過去1年間の漁獲物・収穫物について、魚種別の販売金額の多かった順に3つを下表の魚種番号01～36から選んで記入してください。

	1位	2位	3位
	171	172	173
年間販売金額が多かった魚種番号	10	11	36

表 魚種番号

名	称	番号	名	称	番号	名	称	番号	名	称	番号
くろまぐろ		01	ひらめ・かれい類		10	いかなご		19	ほたてがい		28
かつお・まぐろ類(くろまぐろを除く)		02	すけとうだら		11	ふぐ類		20	その他の貝類		29
かじき類		03	その他たら類		12	その他の魚類		21	いか類		30
さけ・ます類		04	ほっけ		13	いせえび		22	たこ類		31
いわし類		05	あなご類		14	その他のえび類		23	うに類		32
あじ類		06	たちうお		15	ずわいがに(にずわいがに)		24	なまこ類		33
さば類		07	たい類		16	その他のかに類		25	こんぶ類		34
さんま		08	いさき		17	あわび類・さざえ		26	その他の海藻類		35
ぶり類		09	さわら類		18	あさり類		27	その他		36

2 地方選定漁業種類について

過去1年間で地方選定漁業種類の漁業を行った場合、そのすべての漁業種類について記入してください。

地方選定漁業種類が記載されていない場合、マークは不要です。

地方選定漁業種類	種類名	番号	マ	地方選定漁業種類	種類名	番号	マ	地方選定漁業種類	種類名	番号	マ
			ク				ク				ク
	ひき釣	901	○				○				○
	たこつぼ漁業	902	●				○				○
	沖合たこかご漁業	903	○				○				○
	沿岸たこかご漁業	904	○				○				○
	いか玉	905	○				○				○
	あなごかご	906	○				○				○
	しまあじ養殖	907	○				○				○
			○				○				○

都道府県ごとに設定された漁業種類が記入されています。そのうち、行ったものすべてにマークしてください。

- ・ 借り入れているものも含め養殖場の施設面積と使用面積を記入してください。
- ・ 使用面積が施設面積を超えることはありません。

海面養殖を行っていない場合は、次ページへ進んでください。

0 1 0 8

3 海面養殖業 (陸上に設置した水槽に海水を入れ養殖をする場合は、海面養殖に含めます。)

11月1日現在の養殖の状況について記入してください。

(1) 魚類養殖

養殖場の施設面積と使用している面積 (魚類を放養しない面積は除きます。) を記入してください。

借りている施設の面積も含めます。	養殖場の施設面積 百万十万万千百十(m ²)	うち、使用している面積 百万十万万千百十(m ²)	
			魚類養殖の合計
魚類養殖の合計	511	700	300
うち、ぶり類	512		
うち、まだい	513		
うち、ひらめ	514	700	300
うち、陸上水槽	515	100	
うち、とらふぐ	516		
うち、陸上水槽	517		
うち、くろまぐろ	518		

(2) ほたてがい養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式
台数と1台の平均面積を記入してください。

万 千 百 十 (台)

台 数 521

万 千 百 十 (m²)

平 均 面 積 522

イ はえ縄

幹縄 (海面に水平に張って垂下連を支える縄 (ロープ)) の長さを記入してください。

百万十万万千百十 (m)

523

種がきとして販売する稚貝を養成した施設も含めて記入してください。

(3) かき類養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式
台数と1台の平均面積を記入してください。

百万十万万千百十 (台)

台 数 531

百万十万万千百十 (m²)

平 均 面 積 532

イ はえ縄
幹縄 (海面に水平に張って垂下連を支える縄 (ロープ)) の長さを記入してください。

百万十万万千百十 (m)

533

ウ 地まき式、そだひび式
養殖している養殖場の面積を記入してください。

百万十万万千百十 (m²)

534

(4) わかめ類養殖

幹縄 (海面に水平に張って種糸を支える縄 (ロープ)) の長さを記入してください。

百万十万万千百十 (m)

541

(5) のり類養殖

施設の面積を平方メートル単位で記入してください。

(養殖施設の面積には潮通し、船通しは含まれません。面積は、真上からみた養殖施設の面積とし、何枚重ね張りしても1枚の網ひびの面積としてください。)

百万十万万千百十 (m²)

551

(6) 真珠養殖

いかだ台数を記入してください。(かご100つりを1台としてください。)

百万十万万千百十 (台)

561

(7) 真珠母貝養殖

いかだ台数を記入してください。(かご100つりを1台としてください。)

百万十万万千百十 (台)

562

遠洋まぐろ漁業など、1年以上の遠洋航海等で、漁獲はあったものの水揚（販売）をしていない場合は、「販売金額なし」にマークしてください。

養殖を行っていない場合や、養殖を行っていても、養成期間中で過去1年間に収穫をしていない場合は、「販売金額なし」にマークしてください。

4 過去1年間の漁獲物 収獲物の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまるもの一つに記入してください。

収獲物の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまるもの一つに

0109

養殖を行っていない場合は、「うち、海面養殖」の販売金額なしに記入してください。

「10億円以上」の場合は、金額も記入してください。

10億円以上の場合、10億円以上にマークし、金額も記入してください。

販売金額	100万円未満	100万円～300万円未満	300万円～500万円未満	500万円～800万円未満	800万円～1,000万円未満	1,000万円～1,500万円未満	1,500万円～2,000万円未満	2,000万円～5,000万円未満	5,000万円～1億円未満	1億円～2億円未満	2億円～5億円未満	5億円～10億円未満	10億円以上
うち、海面養殖													

5 過去1年間のすべての漁獲物・収獲物の出荷先に記入してください。また、出荷額の最も多かった出荷先一つに記入してください。

出荷先 (該当すべてにマーク)	581	漁業協同組合 以外の卸売市場 または荷さばき所		流通業者・加工業者	小売業者・生協	外食産業	消費者に直接販売		その他
		漁業協同組合 以外の卸売市場 または荷さばき所	流通業者・加工業者	小売業者・生協	外食産業	自営の水産物直売所	その他の水産物直売所	他の方法	その他
出荷先 (該当すべてにマーク)	581	●	○	○	○	○	○	○	○
出荷額の最も多かった出荷先 (一つにマーク)	582	○	○	○	○	○	○	○	○

「漁獲物・収獲物の出荷先」とは、漁業経営体が直接出荷した相手先をいいます。販売を行っていない場合や収穫を行っていない場合は、出荷予定先をマークしてください。

V 漁業以外の事業について

過去1年間に行った漁業以外の事業について、当てはまるものすべてに記入してください。また、漁家民宿の過去1年間の延べ宿泊者数を記入してください。

	行っていない	水産物の加工	漁家民宿	漁家レストラン	遊漁船業	農業	小売業	その他
591	○	○	●	○	○	○	○	○

「漁家レストラン」とは、自ら生産した水産動植物を、使用の多寡にかかわらず用いた料理を提供し、代金を得ている場合をいいます。

漁家民宿の延べ宿泊者数
万 千 百 十 (人)

592	9	0
-----	---	---

「漁家民宿」とは、旅館業法に基づく旅館業の許可を得て、第三者を宿泊させ、自ら生産した水産動植物や地域の食材を用いた料理を提供し料金を得ている事業をいいます。宿泊した人数を記入してください。同一人物が2泊3日で民宿を利用した場合も「1人」と数えます。



調査項目はここまでです。
お忙しい中、最後までご協力いただき誠にありがとうございました。

